

事業報告書

(第3期)

(2023年8月1日～2024年7月31日)

一般財団法人犬猫生活福祉財団



I はじめに

一般財団法人犬猫生活福祉財団は、現代社会において犬及び猫をはじめとする動物が適切な福祉環境を享受できていない状況が多々存することに鑑み、関係団体、獣医師、飼主等と協働して、適切な福祉環境下でない動物の発生を防ぐ取り組みと、動物が適切な福祉環境下で飼育されることを促す取り組みを実施するとともに、人と動物の共生に関わる動物愛護、動物福祉、公衆衛生、社会福祉等の理念の普及とこれに沿う活動を行い、もって、動物の福祉の向上を図るとともに公衆衛生と人の福祉を増進し、人と動物とが持続的に共生できる社会の実現を図ることを目的として、2021年9月1日に設立された。

当法人の第3期（自2023年8月1日至2024年7月31日）事業報告は以下のとおりである。

II 事業内容

今期は、以下の内容の事業活動等を行った。

- ① 動物の保護及び譲渡活動並びにこれらの活動を行う施設の設置運営に関する事業
- ② 動物病院（スベイクリニック）の運営に関する事業
- ③ 動物の保護、譲渡活動、動物診療を行う団体等に関する支援、助成に関する事業
- ④ 動物愛護とその福祉・保健衛生の知識、理念及び活動についての広報及び寄付促進に関する事業
- ⑤ 適正な法人運営及び公益認定に関する準備及び申請

III 事業報告

1 動物の保護及び譲渡活動並びにこれらの活動を行う施設の設置運営に関する事業（定款第4条第1項第1号、同第2号）

① 前橋シェルター（犬猫タウン前橋）の運営

前橋シェルター（犬猫タウン前橋）の運営を継続して行った。人員体制としては当期末の時点で、獣医師は2名、看護師は1名が在籍しており、ドッグトレーナー1名とは業務委託契約を締結している。

当期は、「前橋市保健所」「群馬県動物愛護センター」「高崎市動物愛護センター」「茨城県動物指導センター」の4施設と「多頭飼育崩壊の現場」から保護動物を引き出し、必要な医療処置等を施したのちに里親に譲渡する活動を行った。里親の募集は、公式ホームページ上やSNSを通じて情報を発信すると共に外部の里親募集のWEBサイトも積極的に活用することで認知の拡大に努めた。

また、里親希望者がより気軽に保護動物に会える機会を提供するため、月に3～4回のペースで施設や里親募集中の保護動物の見学ができる会（譲渡会、オープンシェルター）を継続して実施した。

譲渡については仔猫や仔犬は順調な一方で、年齢の高い犬猫や猫エイズなどのウイルスキャリアを持つ猫の譲渡は申込みが入りづらく、そうした譲渡難易度の高い保護動物の譲渡促進が課題となった。

引き出し及び譲渡の実績は次のとおりである。

前橋シェルター

【引き出し数】

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	合計
犬	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
猫	5	4	0	1	0	0	7	3	9	4	7	3	43

【譲渡数】

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	合計
犬	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
猫	6	9	7	15	0	8	2	2	0	1	1	6	57

当期は、犬に対し応募者8件、譲渡頭数2頭（里親2名）、猫に対し応募者103件（選考中1件）、譲渡頭数57頭（里親46名）であった。

② 吉岡シェルター（犬猫タウン吉岡にゃんこシェルター）の運営

吉岡シェルター（犬猫タウン吉岡にゃんこシェルター）の運営を継続して行った。同シェルターにおいては、猫のみを対象とし保護動物の引き出しを行った。当施設においては検疫室を持たないことから、検疫及び初期に必要な医療処置等については前橋シェルター及び預かりボランティアの家庭で実施し、その後吉岡シェルターにて飼育と里親の募集を行った。獣医師は前橋シェルターと兼任する形で健康管理を行った。

里親の募集は前橋シェルターと同様に主に個人を対象としてインターネットやSNSを通じて行った。引き出し及び譲渡の実績は次のとおりである。

吉岡シェルター

【引き出し数】

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	合計
猫	2	0	4	3	2	4	0	0	2	4	1	3	25

【譲渡数】

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	合計
猫	5	1	2	5	0	4	0	1	3	0	3	4	28

当期は、応募者26件（選考中1件）、譲渡頭28頭（里親19名）であった。

③ 前橋シェルター及び吉岡シェルターのスタッフの育成

前橋シェルターにおいては、ドッグトレーナーに講師を依頼し、犬の行動学やトレーニング方法に関する講習を有償スタッフ向けに1回、ボランティアスタッフ向けに4回開催した。

吉岡シェルターにおいては、開設に向けた猫の飼育方法や環境整備についてのマニュアルを作成し、それを元にスタッフへの指導を行った。

④ 前橋市役所との連携

前橋市役所との連携と協力関係をより深め、同市のふるさと納税施策に2023年11月に参加した。

2 動物病院（スペイクリック）の設置運営に関する事業（定款第4条第1項第3号）

前期に開設したスペイククリニック（犬猫タウン前橋病院）の運営を継続し、シェルター収容動物、及び主に飼い主のいない猫に対して不妊去勢手術を提供した。

受診希望者の募集は、主に個人を対象として、インターネットやSNSを通じて行った。

診察室での不妊去勢手術を実施したほか、自動車を用いた出張不妊去勢手術も月に1～2回程度実施し、頭数が多いなどの理由で移動が困難であり、通常では手術の対応が難しい案件にも対応することができた。

一方で群馬県内においてはまだ飼い主のいない猫に対する不妊去勢手術の必要性が十分に広まっておらず、手術申込数の点では課題があり今後はそうした認知の拡大が重要となる。

手術実績は以下のとおりである。

【不妊去勢手術数】

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	合計
不妊手術件数	37	29	34	33	38	33	29	39	14	19	21	24	350
去勢手術件数	20	28	30	22	15	26	15	17	18	10	16	18	235

3 動物の保護、譲渡活動、動物診療を行う団体等に関する支援、助成に関する事業（定款第4条第1項第4号）

① 助成金交付事業

動物の保護、譲渡活動、動物診療を行う法人又は団体に対する助成金の交付事業を行った。今年度の実施内容は以下のとおりである。

- ・ 応募期間：2024年6月3日から6月21日
- ・ 募集方法：当法人のサイトあるいはSNS（Instagram）にて募集
- ・ 申込団体数：30団体
- ・ 審査方法：審査委員会（助成金規程第7条第2項及び第3項、審査委員会規程）において、審査基準（助成金規程第6条）に基づき審査し、その審議を経た後、理事会の承認を得て助成金の交付を決定する。今期の審査委員会は、2024年7月18日に開催された。
- ・ 審査委員の構成は、以下のとおりである。
 - 審査委員長：黛純太（株式会社neconote 代表取締役）
 - 審査委員：井島七海（株式会社PETOKOTO執行役員COO OMUSUBI事業責任者）
長谷川諒（Ani-vet代表／レイクタウンねこ診療所院長／獣医師）
- ・ 審査結果連絡日：2024年7月31日
- ・ 助成決定団体：10団体

【団体の名称・助成金額】

名 称	助成金額
岐阜市地域猫の会	200,000円
WASAO	200,000円
一般社団法人ネコスぺ事務局	200,000円
NPO法人COKA Animal Rescue	200,000円
一般社団法人CAT'S INN TOKYO	200,000円
保護猫カフェ拝啓ねこ様	200,000円
NPO法人くすのき	200,000円
大阪さくらねこの会	200,000円
NPO法人ねこひげハウス	200,000円
ねこの命をつなぐ会	200,000円

② ボランティア情報サイトの運営

動物の愛護活動を行う団体と同活動でのボランティア活動を希望する個人とを結び付けることを目的とした、ボランティアの募集状況等の情報を集約したWEBサイトを「犬猫ワークス」を2022年8月29日に開設した。

2024年7月31日時点の登録数は募集团体が35団体、ボランティア希望の個人が111人となっている。

4 動物愛護とその福祉・保健衛生の知識、理念及び活動についての広報及び寄付促進に関する事業（定款第4条第1項第7号）

① Instagram アカウント “inuneko_seikatsu_foster” の設置・運用

前期に開設した上記アカウントによるインスタグラムにて、今期は43件の投稿を行った。内容としては前橋市保健所等からの引き出しやその後の飼育状況などについて投稿した。フォロワー数は期末時点で1,603人となっている。

② 前橋市における動物愛護・動物福祉に関するイベントの実施

2023年10月8日 群馬県庁にて群馬県健康福祉部食品・生活衛生課が主催した「Life with Pet〜ぐんまペット共生フェス〜」にブース出展をした。

前橋シェルターにおいて、高校生や大学生の実習のためのインタビューや施設見学、インターンの受け入れに対応した。

- ・2023年8月8日 群馬県立太田高等学校 学生インタビュー及び施設見学
- ・2023年10月23日 群馬県立前橋女子高等学校新聞部 学生インタビュー及び施設見学
- ・2023年10月25日～10月27日 群馬県立高崎北高等学校インターン生を受け入れ
- ・2023年12月13日 群馬県高崎女子高等学校 学生インタビュー及び施設見学

③ メディア掲載実績

以下の各メディアに当法人が掲載された。

新聞 3回 上毛新聞、ちいきしんぶん

雑誌・広報紙 3回 ねこのきもち、LinkRingLove、ダイヤモンド・ホームセンター

WEB 4回 ARIGATOBANK、上毛新聞、ねこのきもち

5 適正な法人運営及び公益認定に関する準備及び申請

① 会議に関する事項

以下のとおり、理事会及び評議員会を開催した。

【理事会】

日時	理事の現在数 監事の現在数	議決権を行使 した理事数	議決の結果等
2023年8月10日	3名 1名	3名	助成金交付の承認の件（承認可決）
2023年9月26日	3名 1名	3名	第2期事業報告書、計算書類及びこれらの附属明細書並びに財産目録承認の件、評議員会招集決定の件（すべて承認可決）
2023年10月23日（書 面決議）	3名 1名	3名	代表理事（理事長）1名選定の件（承認可決）
2024年5月31日（書	3名	3名	審査委員選任の件（承認可決）

面決議)	1名		
2024年7月22日	3名 1名	3名	第4期収支予算書承認の件、第3期事業計画書承認の件、助成金交付の承認の件（すべて承認可決）

【評議員会】

日時	評議員現在数	議決権を行使した評議員数	議決の結果等
2023年10月23日	3名	2名	第1期計算書類及び財産目録承認の件、理事3名選任の件、監事1名選任の件（すべて承認可決）

② 役員の異動状況

前期より変更なし。

③ サポーター会員の募集

今期は、サポーター会員規程に基づき、サポーター会員を随時募集し、2024年7月31日時点で会員数は444名となっている。

④ 内部諸規程に基づく運営及びコンプライアンスの確保

当法人の定款及び内部諸規程に沿った当法人の適正な運営に努め、かつ、コンプライアンスの確保に努めた。

⑤ 公益認定に関する準備及び申請

内閣府との協議の上、公益認定申請を一旦取り下げたが、再度の申請に向けて引き続き準備をしている。

以上